

平成 30 年度

予算の概要

長生郡市広域市町村圏組合

一般会計予算の推移

(単位：千円　　%)

年 度	当初予算額	対前年度増減額	伸び率	摘 要
平成 2 5 年度	5,187,864	△ 349,436	△ 6.3	焼却飛灰の保管・処理に対する需用費や委託料の増、一方で、人事異動等による人件費やちば消防共同指令センター、消防救急無線共同整備の終了による整備費用負担金等の補助費の減及びごみ処理施設債等の一部償還終了に伴う公債費の減
平成 2 6 年度	5,183,415	△ 4,449	△ 0.1	消費税 5%から 8%への増税、大芝土地区画整理事業賦課金、新し尿処理場建設に係る委託料や粗大ごみ処理施設運転管理業務委託料等による増、一方で、ごみ処理施設債等の一部償還終了に伴う公債費の減
平成 2 7 年度	5,237,723	54,308	1.0	退職手当負担金減額による人件費の減、大芝土地区画整理事業賦課金の減、汚泥再生処理センター（新し尿処理場）建設に係る委託料の減、一方で、退職手当負担金還付金精算による補助費等、長生郡市保健センター屋上防水・外壁等改修工事、入山津分署移転に係る各種経費や救助工作車購入等の消防設備整備の増による普通建設事業費の増、ちば消防共同指令センター等整備費用負担金の借入金の元金償還開始に伴う公債費の増
平成 2 8 年度	6,673,088	1,435,365	27.4	給与改定及び人事異動等による人件費の減、長生郡市保健センター屋上防水・外壁等改修工事、救助工作車整備の終了による普通建設事業費の減、一方で、可燃物や資源化物の収集委託料や消防団用投光器一式の整備等による物件費の増、施設の老朽化に伴う維持補修費の増、汚泥再生処理センター（新し尿処理場）建設事業、(仮称)長生分署建設事業等による普通建設事業費の増、飛灰固化設備改修工事借入金の元金償還の開始等に伴う公債費の増
平成 2 9 年度	7,486,186	813,098	12.2	平成29年度で稼働終了となる現行し尿処理場の修繕料抑制による維持補修費の減、人事異動及び給与改定等に伴う人件費の増、新最終処分場候補地選定やごみ焼却施設の基幹整備に係る委託料等物件費の増、汚泥再生処理センター（新し尿処理場）建設事業等による普通建設事業費の増、し尿処理施設債の利子や消防施設債の元金償還開始に伴う公債費の増
平成 3 0 年度	5,704,651	△ 1,781,535	△ 23.8	人事異動及び給与改定等に伴う人件費の増、汚泥再生処理センター長期包括運營業務委託、既存し尿処理場の解体工事等による物件費の増、ごみ焼却施設の基幹整備事業や新最終処分場建設事業の開始による増額がある一方で、汚泥再生処理センターや長生分署建設事業等の終了による普通建設事業費の減、し尿処理施設債の利子、保健センターや消防施設債の元金償還開始に伴う公債費の増

平成30年度一般会計予算概要

① 歳入

(単位：千円)

款	区 分	平成30年度当初		平成29年度当初		増減額 ③ ①－②	増減率(%) ③／②×100
		予算額 ①	構成比	予算額 ②	構成比		
1	分担金及び負担金	4,247,336	74.5	4,263,115	56.9	△ 15,779	△ 0.4
2	使用料及び手数料	795,700	13.9	794,428	10.6	1,272	0.2
3	国庫支出金	32,031	0.6	571,967	7.6	△ 539,936	△ 94.4
4	県支出金	22,722	0.4	12,816	0.2	9,906	77.3
5	財産収入	18,366	0.3	18,450	0.3	△ 84	△ 0.5
6	繰入金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
7	繰越金	20,000	0.4	20,000	0.3	0	0.0
8	諸収入	147,295	2.6	165,209	2.2	△ 17,914	△ 10.8
9	組合債	421,200	7.4	1,640,200	21.9	△ 1,219,000	△ 74.3
	計	5,704,651	100.0	7,486,186	100.0	△ 1,781,535	△ 23.8

主な増減理由

[分担金及び負担金]

長生郡市広域市町村圏組合は、その性格上、主要な財源を市町村負担金に依存しています。

平成30年度一般会計予算に占める負担金の割合は、74.5%で、前年度当初予算額に対して15,779千円、0.4%減の4,247,336千円を計上しました。

歳入面で、売却単価の下落等による売却電気料金の減額、歳出面において、人事異動や給与改定等による人件費、公債費の増等の増額となる要因がありましたが、減額となった要因として、汚泥再生処理センターや長生分署建設事業の終了により投資的経費が大幅に減額となったことによるものです。

[使用料及び手数料]

前年度当初予算額に対して1,272千円、0.2%増の795,700千円を計上しました。

増額となった要因は、一般廃棄物収集処理手数料において実績により、ごみ処理手数料を1,701千円の減と見込みましたが、し尿処理手数料を2,970千円の増と見込んだこと等によるものです。

[国庫支出金]

前年度当初予算額に対して539,936千円、94.4%減の32,031千円を計上しました。

減額となった要因は、衛生費及び消防費の補助対象事業費の減によるものです。

内訳としては、新最終処分場建設事業に対する循環型社会形成推進交付金で25,437千円、

最終処分場の放流水の放射性物質測定費用に対する廃棄物処理施設モニタリング事業費補助金で180千円、ごみ焼却施設基幹的設備改良事業に対する二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金で6,413千円等を計上しました。

[県支出金]

前年度当初予算額に対して9,906千円、77.3%増の22,722千円を計上しました。
増額となった要因は、消防費の補助対象事業の増等によるものです。
内訳としては、千葉市、市原市の石油コンビナートに隣接する茂原市、長南町の消防施設整備に対する石油貯蔵施設立地対策等交付金で8,674千円、消防設備整備等に対する消防防災施設強化事業補助金で13,936千円、消防団員入団促進の広報・啓発に対する千葉県地域防災力向上総合支援補助金で112千円を計上しました。

[財産収入]

前年度当初予算額に対して84千円、0.5%減の18,366千円を計上しました。
減額となった要因は、物品売払収入で売払予定車両台数の減により減額を見込んだことによるものです。
内訳としては、普通財産貸付料として、温水センター浴場棟・プール棟等で15,036千円、大芝区画整理組合内土地貸付賃料で2,795千円、農業者研修センター跡地貸付賃料ほかで192千円等、物品売払収入とした消防車両の廃車両売却代で330千円を計上しました。

[繰越金]

前年度当初予算額と同額の20,000千円を計上しました。
一般管理費へ予備費と同額の20,000千円を充当したものです。

[諸収入]

前年度当初予算額に対して17,914千円、10.8%減の147,295千円を計上しました。
雑入において、汚泥再生処理センター本稼働までの移行期間に要するし尿処理場運転管理費として2,570千円、また、鉄・アルミ等の資源化物売却代で11,252千円の増額を見込みましたが、売電単価の下落により売却電気料金で30,000千円を減と見込んだこと等により減額となりました。

[組合債]

前年度当初予算額に対して1,219,000千円、74.3%減の421,200千円を計上しました。
長生分署建設事業や汚泥再生処理センター建設事業の終了により減額となりました。
ごみ焼却施設基幹的設備整備事業、し尿処理場解体工事、新最終処分場用地購入、常備及び非常備消防施設整備事業に対し借り入れをするものです。

② 歳 出

(目 的 別)

(単位：千円)

款	項	目	区 分	平成30年度当初		平成29年度当初		増減額③ ①－②	増減率(%) ③／②×100
				予算額 ①	構成比	予算額 ②	構成比		
1	議	会	費	2,078	0.0	2,227	0.0	△ 149	△ 6.7
2	総	務	費	232,693	4.1	221,516	3.0	11,177	5.0
3	民	生	費	41,507	0.7	37,039	0.5	4,468	12.1
	1	1	介護認定審査会費	35,780	0.6	29,847	0.4	5,933	19.9
	2	1	障害支援区分 認定審査会費	5,727	0.1	7,192	0.1	△ 1,465	△ 20.4
4	衛	生	費	2,534,613	44.4	4,256,276	56.8	△ 1,721,663	△ 40.4
	1		保健衛生費	283,560	5.0	282,905	3.8	655	0.2
		1	保健衛生総務費	236,889	4.2	232,899	3.1	3,990	1.7
		2	夜間急病診療所費	42,462	0.7	45,709	0.6	△ 3,247	△ 7.1
		3	温水センター 屋外施設費	4,209	0.1	4,297	0.1	△ 88	△ 2.0
	2		清 掃 費	2,251,053	39.4	3,973,371	53.0	△ 1,722,318	△ 43.3
		1	清掃総務費	122,203	2.1	116,737	1.5	5,466	4.7
		2	し尿処理費	125,499	2.2	80,034	1.1	45,465	56.8
		3	可燃物処理費	1,011,653	17.7	990,260	13.2	21,393	2.2
		4	不燃物処理費	199,065	3.5	193,712	2.6	5,353	2.8
		5	最終処分場費	219,448	3.8	162,831	2.2	56,617	34.8
		6	資源化推進費	175,336	3.1	174,871	2.3	465	0.3
		7	新し尿処理場 建設費	208,482	3.7	2,254,925	30.1	△ 2,046,443	△ 90.8
		8	新最終処分場建 設費	189,366	3.3	0	0.0	189,366	皆増
		9	一般廃棄物処理 施設建設基金費	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5	消	防	費	2,361,997	41.4	2,483,233	33.2	△ 121,236	△ 4.9
		1	常備消防費	1,984,560	34.8	1,911,442	25.6	73,118	3.8
		2	非常備消防費	124,153	2.2	118,750	1.6	5,403	4.5
		3	常備消防施設費	107,098	1.9	361,442	4.8	△ 254,344	△ 70.4
		4	非常備消防施設費	146,186	2.5	91,599	1.2	54,587	59.6
6	教	育	費	18,619	0.3	18,779	0.2	△ 160	△ 0.9
7	公	債	費	493,144	8.7	447,116	6.0	46,028	10.3
8	予	備	費	20,000	0.4	20,000	0.3	0	0.0
			計	5,704,651	100.0	7,486,186	100.0	△ 1,781,535	△ 23.8

目的別の主な増減理由

[議会費]

前年度当初予算額に対して149千円、6.7%減の2,078千円を計上しました。
議会用備品の更新終了により減額となりました。

[総務費]

前年度当初予算額に対して11,177千円、5.0%増の232,693千円を計上しました。
普通財産貸付をしている老朽化が著しい温水センター浴場棟及びプール棟に係る修繕料、庁内電話交換機等更新工事等により増額となりました。

[民生費]

前年度当初予算額に対して4,468千円、12.1%増の41,507千円を計上しました。

1項 介護認定審査会費は、審査件数の増を見込み、審査会の開催数が増加することに伴い審査委員報酬が増となったこと、また、介護認定システム借上料が再リースから全更新となったことで増となり、前年度に比較し、5,933千円の増額となりました。

2項 障害支援区分認定審査会費は、人事異動に伴う人件費の減により、前年度に比較し、1,465千円の減額となりました。

[衛生費]

前年度当初予算額に対して1,721,663千円、40.4%減の2,534,613千円を計上しました。

1項 保健衛生費は、前年度当初予算額に対して655千円、0.2%増の283,560千円を計上しました。

保健衛生総務費で、前年度当初予算額に対して3,990千円、1.7%増の236,889千円を計上しました。人事異動等による人件費の増により増額となりました。

夜間急病診療所費で、前年度当初予算額に対して3,247千円、7.1%減の42,462千円を計上しました。長生郡市保健センター外部排水設備改修工事の終了により減額となりました。

2項 清掃費は、前年度当初予算額に対して1,722,318千円、43.3%減の2,251,053千円を計上しました。

し尿処理費で汚泥再生処理センター長期包括運營業務委託、可燃物処理費でごみ焼却施設基幹的整備改良事業、最終処分場費でエコパーク長生補修工事や佐貫最終処分場法面工事、新し尿処理場建設費で既存のし尿処理場解体工事、新最終処分場建設費で用地購入や建設に係る各種委託料等、増額となる要因がありましたが、新し尿処理場建設費で、汚泥再生処理センター建設事業の終了により減額となりました。

[消防費]

前年度当初予算額に対して 121,236 千円、4.9%減の 2,361,997 千円を計上しました。

常備消防費で、人事異動及び給与改定等に伴う人件費の増、非常備消防費で、消防団の組織改革による報酬等や消防用ホースの購入本数の増、非常備消防施設費で、消防機庫建設 1 棟の増、消防ポンプ自動車購入等の増額による要因がありましたが、常備消防施設費で長生分署建設事業や支援車Ⅱ型の整備が終了したこと等により減額となりました。

[教育費]

前年度当初予算額に対して 160 千円、0.9%減の 18,619 千円を計上しました。

教育用DVD教材や、近年貸出要望の増加しているプロジェクターやワイヤレスアンプの整備をするものです。

[公債費]

前年度当初予算額に対して 46,028 千円、10.3%増の 493,144 千円を計上しました。

し尿処理施設債で平成 29 年度借入分の利子、保健センター、常備及び非常備消防施設債で平成 28 年度借入分の元金償還の開始等により増額となりました。

[予備費]

前年度当初予算額と同額の 20,000 千円を計上しました。

(性質別)

(単位：千円)

区 分	平成30年度当初		平成29年度当初		増減額③	増減率(%)
	予算額 ①	構成比	予算額 ②	構成比	①－②	③／②×100
人 件 費	2,300,172	40.3	2,217,447	29.6	82,725	3.7
物 件 費	1,850,716	32.4	1,597,844	21.3	252,872	15.8
維 持 補 修 費	131,536	2.3	124,148	1.7	7,388	6.0
扶 助 費	26,280	0.5	24,315	0.3	1,965	8.1
補 助 費 等	387,511	6.8	387,889	5.2	△ 378	△ 0.1
普通建設事業費	495,291	8.7	2,667,426	35.6	△ 2,172,135	△ 81.4
公 債 費	493,144	8.6	447,116	6.0	46,028	10.3
予 備 費	20,000	0.4	20,000	0.3	0	0.0
積 立 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
計	5,704,651	100.0	7,486,186	100.0	△ 1,781,535	△ 23.8

性質別の主な増減理由

[人件費]

前年度当初予算額に対して82,725千円、3.7%の増となりました。

再任用職員1人減による減額要因がありましたが、人事異動及び千葉県人事委員会勧告に準じた給与改定や共済費の負担金掛け率の上昇等により増額となりました。

[物件費]

前年度当初予算額に対して252,872千円、15.8%の増となりました。

需用費で、し尿処理の委託形態変更等による薬品費の減、燃えるごみ専用袋の作成単価が減となったことによる消耗品費の減等、減額となる要因がある一方で、汚泥再生処理センター長期包括運営業務委託による委託料の増、また、既存し尿処理場の解体工事費を計上したことにより増額となりました。

[維持補修費]

前年度当初予算額に対して7,388千円、6.0%の増となりました。

普通財産貸付をしている温水センター浴場棟・プール棟の老朽化に伴う修繕、また、可燃物処理施設で燃焼用通風設備の修繕等により増額となりました。

各種施設の修繕については、定期点検の結果に基づき計画的に実施していますが、施設の老朽化に伴い突発的な修繕が増加する傾向となっています。

[扶助費]

前年度当初予算額に対して1,965千円、8.1%の増となりました。
児童手当の経費です。

[補助費等]

前年度当初予算額に対して378千円、0.1%の減となりました。
ちば消防共同指令センター負担金や千葉県消防協会負担金等の増額がありますが、一方で、汚泥再生処理センター及び長生分署の給水申込納付金、消火栓新設負担金等の減により減額となりました。

[普通建設事業費]

前年度当初予算額に対して2,172,135千円、81.4%の減となりました。
ごみ焼却施設の基幹的設備改良事業、佐貫最終処分場法面工事、新最終処分場建設事業等の増額要因がありましたが、一方で、長生分署建設事業及び汚泥再生処理センター建設事業の終了に伴い減額となりました。

[公債費]

前年度当初予算額に対して46,028千円、10.3%の増となりました。
し尿処理施設債で平成29年度借入分の利子、保健センター、常備及び非常備消防施設債で平成28年度借入分の元金償還の開始等により増額となりました。

主 要 事 業

1	庁舎及び普通財産等の管理	
	・温水センター浴場棟・プール棟施設修繕	15,036千円
	・庁内電話交換機等更新工事	2,376千円
2	介護認定審査・障害支援区分認定審査の充実	
	・介護認定審査の実施	35,780千円
	・障害支援区分認定審査の実施	5,727千円
3	休日及び夜間救急医療の充実	
	・休日・夜間救急診療の実施等	279,351千円
4	環境衛生の充実	
	・汚泥再生処理センター長期包括運營業務	94,112千円
	・可燃物収集業務	192,677千円
	・焼却施設各種維持管理業務（定期清掃・総合定期点検）	114,700千円
	・焼却施設運転管理業務	221,746千円
	・搬入室受入作業等業務（可燃物・不燃物）	43,767千円
	・不燃物収集業務（燃えないごみ・粗大ごみ）	70,037千円
	・粗大ごみ処理施設運転管理業務	25,143千円
	・最終処分場整備業務	6,869千円
	・最終処分場浸出水処理施設運転管理業務	18,404千円
	・資源化物収集及び処理業務	171,545千円
	・し尿処理施設解体撤去工事	206,477千円
	・ごみ焼却施設基幹的設備改良事業 （平成30年度～34年度事業）	12,038千円
	・新最終処分場建設事業	189,366千円
5	消防施設等の整備充実	
	・高規格救急自動車 1台（更新）	35,000千円
	・資機材搬送車 1台（更新）	5,000千円
	・ちば消防共同指令センター部分更新負担金 （平成30年度～31年度事業）	7,898千円
	・消防機庫新築 2棟（非常備）	63,335千円
	・消防ポンプ自動車 2台（非常備・更新）	36,136千円
	・小型動力ポンプ付積載車 2台（非常備・更新）	14,776千円
	・消火栓新設 12栓（非常備）	14,400千円
6	視聴覚教育の充実	
	・学校教育用及び社会教育用DVD教材等の購入	3,200千円

平成30年度特別会計 火葬場・斎場事業費予算概要

① 歳入

(単位：千円)

款	区 分	平成30年度		平成29年度		増減額③ ①－②	増減率(%) ③／②×100
		予算額 ①	構成比	予算額 ②	構成比		
1	分担金及び負担金	119,218	72.9	106,486	71.7	12,732	12.0
2	使用料及び手数料	43,086	26.3	40,716	27.4	2,370	5.8
3	繰越金	1,000	0.6	1,000	0.7	0	0.0
4	諸収入	251	0.2	262	0.2	△ 11	△ 4.2
	計	163,555	100.0	148,464	100.0	15,091	10.2

主な増減理由

[分担金及び負担金]

平成30年度特別会計予算に占める市町村負担金の割合は、72.9%で、前年度当初予算額に対して12,732千円、12.0%増の119,218千円を計上しました。

増額となった要因は、歳入面で、実績により使用料及び手数料を増額と見込んだこと、また、歳出面で光熱水費の減等による減額要因がありましたが、人件費、火葬設備の修繕及び工事費が増額となったことによるものです。

[使用料及び手数料]

前年度当初予算額に対して2,370千円、5.8%増の43,086千円を計上しました。

実績により、聖苑使用料や霊柩車使用料を増額と見込んだことによるものです。

[繰越金]

前年度当初予算額と同額の1,000千円を計上しました。

予備費と同額の1,000千円を充当したものです。

[諸収入]

前年度当初予算額に対して11千円、4.2%減の251千円を計上しました。

② 歳出

(目的別)

(単位：千円)

款	項 目	区 分	平成30年度		平成29年度		増減額③ ①－②	増減率(%) ③／②×100
			予算額 ①	構成比	予算額 ②	構成比		
1		事業費	162,555	99.4	147,464	99.3	15,091	10.2
	1 1	聖苑管理費	151,044	92.4	135,682	91.4	15,362	11.3
	1 2	霊柩車管理費	11,511	7.0	11,782	7.9	△ 271	△ 2.3
2		予備費	1,000	0.6	1,000	0.7	0	0.0
		計	163,555	100.0	148,464	100.0	15,091	10.2

目的別の主な増減理由

[聖苑管理費]

前年度当初予算額に対して15,362千円、11.3%増の151,044千円を計上しました。

増額となった要因は、空調機等改修工事の効果により光熱水費が減額となりましたが、人事異動及び給与改定等による人件費、老朽化が著しい火葬設備の修繕料や工事費が増額となったことなどによるものです。

[霊柩車管理費]

前年度当初予算額に対して271千円、2.3%減の11,511千円を計上しました。

車両更新に伴い車検費用が減額となりました。

平成29年度に続き、老朽化した霊柩自動車1台の更新を行います。

(性質別)

(単位：千円)

区 分	平成30年度		平成29年度		増減額③ ①－②	増減率(%) ③／②×100
	予算額 ①	構成比	予算額 ②	構成比		
人 件 費	30,128	18.4	28,420	19.1	1,708	6.0
物 件 費	67,761	41.5	69,577	46.9	△ 1,816	△ 2.6
維 持 補 修 費	7,400	4.5	6,600	4.4	800	12.1
扶 助 費	360	0.2	180	0.1	180	100.0
補 助 費 等	670	0.4	695	0.5	△ 25	△ 3.6
普 通 建 設 事 業 費	56,236	34.4	41,992	28.3	14,244	33.9
予 備 費	1,000	0.6	1,000	0.7	0	0.0
計	163,555	100.0	148,464	100.0	15,091	10.2

性質別の主な増減理由

[人件費]

前年度当初予算額に対して1,708千円、6.0%の増となりました。

人事異動及び千葉県人事委員会の勧告に準じた給与改定や共済費の負担金掛け率の上昇等により増額となりました。

[物件費]

前年度当初予算額に対して1,816千円、2.6%の減となりました。

需用費で、平成26年度から計画的に行っている空調機等改修工事の効果等により、光熱水費の削減が図れたことにより減額となりました。

[維持補修費]

前年度当初予算額に対して800千円、12.1%の増となりました。

火葬設備等の修繕箇所が増加したことにより増額となりました。

[扶助費]

前年度当初予算額に対して180千円、100%の増となりました。

児童手当の経費です。

[補助費等]

前年度当初予算額に対して25千円、3.6%の減となりました。

建物共済保険料や自動車損害保険料等の経費です。

[普通建設事業費]

前年度当初予算額に対して14,244千円、33.9%の増となりました。

火葬炉設備更新工事で、風圧レギュレーター、電動チェーンブロック交換等更新箇所の増により増額となりました。

平成30年度水道事業会計予算概要

[業務量の見込み]

項目	平成30年度	平成29年度	増減	増減率 (%)	
1. 給水戸数	62,103 戸	61,707 戸	396 戸	0.6	
2. 給水人口	143,291 人	144,588 人	△ 1,297 人	△ 0.9	
3. 年間総給水量	18,968,000 m ³	19,019,000 m ³	△ 51,000 m ³	△ 0.3	
内訳	(1) 受水	15,212,000 m ³	15,253,000 m ³	△ 41,000 m ³	△ 0.3
	(2) 地下水	3,756,000 m ³	3,766,000 m ³	△ 10,000 m ³	△ 0.3
4. 一日平均給水量	51,967 m ³	52,107 m ³	△ 140 m ³	△ 0.3	

1. 水道事業収益及び費用について（税込み）

（水道事業収益）

水道事業収益は、前年度当初予算額に対して12,409千円、0.2%減の5,065,518千円を計上しました。

1項営業収益は、前年度当初予算額に対して10,323千円、0.3%減の3,985,517千円で、その内訳として、1目給水収益は、人口減少等による家事用使用水量の減少により、10,317千円減の3,970,668千円を計上しました。

2目受託工事収益は、前年度と同額の1,080千円を計上し、3目その他営業収益は、手数料及びその他営業収益として6千円減の13,769千円を計上しました。

次に、2項営業外収益は、前年度当初予算額に対して2,086千円、0.2%減の1,079,998千円で、その内訳として、2目給水申込納付金は新規申込件数の減少により2,938千円減の113,991千円を計上しました。

3目市町村負担金及び4目県補助金は、高料金対策補助金として、前年度と同額の402,900千円を計上しました。

5目長期前受金戻入は、補助金・負担金等により取得した資産に係る減価償却費見合い分を収益化したもので、935千円増の148,616千円を計上しました。

(単位：千円)

款	項目	区分	平成30年度	平成29年度	増減額③	増減率(%)
			当初予算額①	当初予算額②	①-②	③/②×100
1	水道事業収益		5,065,518	5,077,927	△ 12,409	△ 0.2
	1 営業収益		3,985,517	3,995,840	△ 10,323	△ 0.3
	1 給水収益		3,970,668	3,980,985	△ 10,317	△ 0.3
	2 受託工事収益		1,080	1,080	0	0.0
	3 その他営業収益		13,769	13,775	△ 6	0.0
2	営業外収益		1,079,998	1,082,084	△ 2,086	△ 0.2
	1 受取利息及び配当金		2	2	0	0.0
	2 給水申込納付金		113,991	116,929	△ 2,938	△ 2.5
	3 市町村負担金		402,900	402,900	0	0.0
	4 県補助金		402,900	402,900	0	0.0
	5 長期前受金戻入		148,616	147,681	935	0.6
	6 雑収益		11,589	11,672	△ 83	△ 0.7
3	特別利益		3	3	0	0.0

(水道事業費用)

水道事業費用は、前年度当初予算額に対して13,205千円、0.3%減の5,002,247千円を計上しました。

1項営業費用は、前年度当初予算額に対して1,737千円減の4,756,795千円で、その内訳として、1目原水及び浄水費は、6,324千円減の2,979,649千円を計上しました。そのうち、九十九里地域水道企業団へ支払う受水費は、使用水量の減少により、753千円減の2,709,850千円を計上しました。

2目配水及び給水費は、2,528千円減の377,857千円を計上しました。

3目受託工事費は、配給水管切損工事等に伴う受託工事として、前年度と同額の1,080千円を計上しました。

4目業務費は、主に水道料金の検針及び集金に係る経費で、4,588千円減の275,623千円を計上しました。

5目総係費は、九十九里地域末端給水事業体事業統合に係る負担金の減少等により、7,662千円減の157,592千円を計上しました。

6目減価償却費は、配水管等の有形固定資産を定額法で算出し、20,187千円増の930,881千円を計上しました。

人件費総額は、職員52人非常勤職員7人とし、職員数を59人と見込み、1,866千円増の430,066千円を計上しました。

次に2項営業外費用は、前年度当初予算額に対して11,468千円、4.5%減の245,449千円で、その内訳として1目支払利息及び企業債取扱諸費は、11,164千円減の215,968千円を計上しました。

2目消費税及び地方消費税は、仮消費税から仮払消費税を控除した納税額で、304千円減の29,180千円を計上しました。

(単位：千円)

款	項	目	区 分	平成30年度 当初予算額①	平成29年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率(%) ③/②×100
1			水道事業費用	5,002,247	5,015,452	△ 13,205	△ 0.3
	1		営業費用	4,756,795	4,758,532	△ 1,737	0.0
		1	原水及び浄水費	2,979,649	2,985,973	△ 6,324	△ 0.2
			受水費	2,709,850	2,710,603	△ 753	0.0
		2	配水及び給水費	377,857	380,385	△ 2,528	△ 0.7
		3	受託工事費	1,080	1,080	0	0.0
		4	業務費	275,623	280,211	△ 4,588	△ 1.6
		5	総係費	157,592	165,254	△ 7,662	△ 4.6
		6	減価償却費	930,881	910,694	20,187	2.2
		7	資産減耗費	24,111	24,933	△ 822	△ 3.3
		8	その他営業費用	10,002	10,002	0	0.0
	2		営業外費用	245,449	256,917	△ 11,468	△ 4.5
		1	支払利息及び企業債取扱諸費	215,968	227,132	△ 11,164	△ 4.9
		2	消費税及び地方消費税	29,180	29,484	△ 304	△ 1.0
		3	雑支出	301	301	0	0.0
	3		特別損失	3	3	0	0.0

2. 資本的収入及び支出について（税込み）

（資本的収入）

資本的収入は、前年度当初予算額に対して60,113千円、7.5%増の859,581千円を計上しました。

1項企業債1目企業債は、配水管更新工事等の建設改良事業の財源として前年度当初予算額に対して25,300千円、3.9%増の671,800千円を計上しました。

2項負担金1目負担金は、前年度当初予算額に対して33,983千円、22.8%増の182,923千円を計上しました。

3項雑収入1目雑入は、負担金工事に係る設計手数料によるもので、前年度当初予算額に対して830千円、20.6%増の4,858千円を計上しました。

（単位：千円）

款	項目	区 分	平成30年度 当初予算額①	平成29年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率(%) ③/②×100
1	資本的収入		859,581	799,468	60,113	7.5
	1	企業債	671,800	646,500	25,300	3.9
		1 企業債	671,800	646,500	25,300	3.9
	2	負担金	182,923	148,940	33,983	22.8
		1 負担金	182,923	148,940	33,983	22.8
	3	雑収入	4,858	4,028	830	20.6
		1 雑入	4,858	4,028	830	20.6

（資本的支出）

資本的支出は、前年度当初予算額に対して85,797千円、5.2%増の1,741,523千円を計上しました。

1項建設改良費は、前年度当初予算額に対して67,870千円、6.8%増の1,069,658千円で、その内訳として1目消火栓工事費は、新設消火栓設置数の減少により4,800千円減の14,400千円を計上しました。

2目建設事務費は、職員の異動等により1,634千円増の62,174千円を計上しました。

3目原水施設費は、集中監視制御装置更新工事及び取水井修繕工事等で5,977千円増の105,084千円を計上しました。

4目配水施設費は、経年管布設替え工事、石綿セメント管更新工事、計装機器更新工事及び加圧ポンプ制御盤改修工事等によるもので、64,200千円増の874,173千円を計上しました。

5目営業設備費は、業務用無線機器の更新により859千円増の13,827千円を計上しました。

次に2項企業債償還金1目企業債償還金は、前年度当初予算額に対して17,927千円、2.7%増の671,865千円を計上しました。

（単位：千円）

款	項目	区 分	平成30年度 当初予算額①	平成29年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率(%) ③/②×100
1	資本的支出		1,741,523	1,655,726	85,797	5.2
	1	建設改良費	1,069,658	1,001,788	67,870	6.8
		1 消火栓工事費	14,400	19,200	△ 4,800	△ 25.0
		2 建設事務費	62,174	60,540	1,634	2.7
		3 原水施設費	105,084	99,107	5,977	6.0
		4 配水施設費	874,173	809,973	64,200	7.9
		5 営業設備費	13,827	12,968	859	6.6
	2	企業債償還金	671,865	653,938	17,927	2.7
		1 企業債償還金	671,865	653,938	17,927	2.7

資本的収入額が資本的支出額に不足する額881,942千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金等で補てんするものです。

主 要 事 業

1	消火栓工事費	
	・地下式消火栓設置工事（12栓）	14,400 千円
2	建設事務費	
	・給水装置システムデータ作成業務委託	17,280 千円
	・長南浄水場の廃止に向けた水運用計画策定業務委託	6,480 千円
	・配水管布設替え工事実施設計業務委託	6,372 千円
3	原水施設費	
	・集中監視制御装置更新工事（第3期）	59,400 千円
	・取水井修繕（二重ケーシング）工事	11,664 千円
	・山之郷浄水場2系ろ過機ろ材等更新工事（2基）	7,020 千円
	・長南配水池笠森ラインポンプ更新工事	6,480 千円
	・真名配水池・長南浄水場高圧コンデンサ更新工事	6,480 千円
4	配水施設費	
	・配水管（経年管）布設替え工事（6,939m）	600,050 千円
	・下水道事業等に伴う配水管移設工事（2,874m）	155,768 千円
	・老朽管（石綿セメント管）布設替え工事（747m）	71,158 千円
	・配水管布設・増圧工事（1,000m）	10,800 千円
	・舗装本復旧工事負担金	11,016 千円
	・中善寺ポンプ場流入・送水記録計改修工事	8,964 千円
	・坂本配水池配水流量記録計更新工事	8,208 千円
	・加圧ポンプ制御盤改修工事（3箇所）	5,616 千円

平成30年度病院事業会計予算概要

〔業務量の見込み〕

項	目	平成30年度	平成29年度	増 減	増減率 (%)
1.	病床数	180 床	180 床	0 床	0.0
2.	入院 (年延)	39,420 人	41,610 人	△ 2,190 人	△ 5.3
	診療日数	365 日	365 日	0 日	
	1日平均	108 人	114 人	△ 6 人	
	外来 (年延)	90,280 人	89,792 人	488 人	0.5
	診療日数	244 日	244 日	0 日	
1日平均	370 人	368 人	2 人		

1. 病院事業収益及び費用について(税込み)

(病院事業収益)

病院事業収益は、前年度当初予算額に対して7,558千円、0.2%増の3,735,131千円を計上しました。

1項医業収益は、前年度当初予算額に対して77,722千円、2.6%減の2,888,635千円で、その内訳として、1目入院収益は、1日平均患者数を108人、1人1日当りの診療単価を44,000円と見込み118,414千円減の1,734,480千円を計上しました。

2目外来収益は、1日平均患者数370人、1人1日当りの診療単価を9,500円と見込み、44,144千円増の857,660千円を計上しました。

3目その他医業収益は、室料差額収益、住民検診等の公衆衛生活動収益及び人間ドック等の医療相談収益等で、558千円増の147,885千円を計上しました。

4目市町村負担金は、救急医療に要する経費で4,010千円減の148,610千円を計上しました。

次に、2項医業外収益は、前年度当初予算額に対して85,280千円、11.2%増の846,495千円で、その内訳として2目市町村負担金は、高度医療及び小児医療等に要する構成市町村からの負担金で93,391千円増の654,995千円を計上しました。

3目補助金は、県の救急基幹センター運営費補助金等で、9,770千円を計上しました。

4目長期前受金戻入は、補助金・負担金等により取得した資産に係る減価償却費見合い分を収益化したもので、102,627千円を計上しました。

5目その他医業外収益は、自動販売機の売上手数料や他医療機関への医師派遣料等で、57,801千円を計上しました。

6目売店収益は、2,184千円減の21,300千円を計上しました。

(単位：千円)

款	項	目	区分	平成30年度 当初予算額①	平成29年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率 (%) ③/②×100
1			病院事業収益	3,735,131	3,727,573	7,558	0.2
	1		医業収益	2,888,635	2,966,357	△ 77,722	△ 2.6
		1	入院収益	1,734,480	1,852,894	△ 118,414	△ 6.4
		2	外来収益	857,660	813,516	44,144	5.4
		3	その他医業収益	147,885	147,327	558	0.4
		4	市町村負担金	148,610	152,620	△ 4,010	△ 2.6
	2		医業外収益	846,495	761,215	85,280	11.2
		1	受取利息配当金	1	1	0	0.0
		2	市町村負担金	654,995	561,604	93,391	16.6
		3	補助金	9,770	7,009	2,761	39.4
		4	長期前受金戻入	102,627	104,026	△ 1,399	△ 1.3
		5	その他医業外収益	57,801	65,090	△ 7,289	△ 11.2
		6	売店収益	21,300	23,484	△ 2,184	△ 9.3
		7	消費税及び地方消費税還付金	1	1	0	0.0
3			特別利益	1	1	0	0.0

(病院事業費用)

病院事業費用は、前年度当初予算額に対して34,298千円、0.9%増の3,726,025千円を計上しました。

1 項医業費用は、前年度当初予算額に対して38,662千円、1.1%増の3,676,568千円で、その内訳として、1 目給与費は、医師、看護師等の異動に伴い、19,890千円減の2,348,711千円を計上しました。

2 目材料費は、薬品費及び診療材料費等で、45,265千円増の608,000千円を計上しました。

3 目経費は、光熱水費、修繕費及び委託料等で、21,211千円増の497,617千円を計上しました。

4 目減価償却費は、有形固定資産を定額法により算出したもので、7,038千円減の209,160千円を計上しました。

5 目資産減耗費は、886千円減の4,480千円を計上しました。

6 目研究研修費は、前年度と同額の8,600千円を計上しました。

2 項医業外費用は、前年度当初予算額に対して4,364千円、8.1%減の49,456千円でその内訳として1 目支払利息及び企業債取扱諸費は、3,085千円減の11,533千円を計上しました。

2 目売店費用は、740千円減の16,560千円を計上しました。

3 目消費税及び地方消費税は、納税額で10,425千円を計上しました。

5 目長期前払消費税勘定償却は、52千円増の10,936千円を計上しました。

(単位：千円)

款	項	目	区 分	平成30年度 当初予算額①	平成29年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率 (%) ③/②×100
1			病院事業費用	3,726,025	3,691,727	34,298	0.9
	1		医業費用	3,676,568	3,637,906	38,662	1.1
		1	給与費	2,348,711	2,368,601	△ 19,890	△ 0.8
		2	材料費	608,000	562,735	45,265	8.0
		3	経費	497,617	476,406	21,211	4.5
		4	減価償却費	209,160	216,198	△ 7,038	△ 3.3
		5	資産減耗費	4,480	5,366	△ 886	△ 16.5
		6	研究研修費	8,600	8,600	0	0.0
	2		医業外費用	49,456	53,820	△ 4,364	△ 8.1
		1	支払利息及び企業債取扱諸費	11,533	14,618	△ 3,085	△ 21.1
		2	売店費用	16,560	17,300	△ 740	△ 4.3
		3	消費税及び地方消費税	10,425	9,217	1,208	13.1
		4	雑支出	2	1,801	△ 1,799	△ 99.9
		5	長期前払消費税勘定償却	10,936	10,884	52	0.5
3			特別損失	1	1	0	0.0

(単位：千円)

区 分	平成30年度 当初予算額①	平成29年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率 (%) ③/②×100
経 常 収 支	9,106	35,846	△ 26,740	△ 74.6
当 期 純 損 益	9,106	35,846	△ 26,740	△ 74.6

2. 資本的収入及び支出について(税込み)

(資本的収入)

資本的収入は、前年度当初予算額に対して16,113千円、7.4%減の201,344千円を計上しました。

1項市町村負担金1目市町村負担金は、企業債元金償還金と建設改良に要する経費とし、繰出基準に基づく市町村からの負担金で、前年度当初予算額に対して15,463千円、7.1%減の201,344千円で、その内訳は、企業債償還金に要する183,844千円と建設改良費の医療機器購入に要する17,500千円です。

(単位：千円)

款	項	目	区 分	平成30年度 当初予算額①	平成29年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率 (%) ③/②×100
1			資本的収入	201,344	217,457	△ 16,113	△ 7.4
	1		市町村負担金	201,344	216,807	△ 15,463	△ 7.1
		1	市町村負担金	201,344	216,807	△ 15,463	△ 7.1
	-		修学資金貸付金返還金	-	650	△ 650	△ 100.0
		-	修学資金貸付金返還金	-	650	△ 650	△ 100.0

(資本的支出)

資本的支出は、前年度当初予算額に対して34,314千円、9.1%減の341,444千円を計上しました。

1項建設改良費1目資産購入費は、医療機器の関節鏡スコープシステム・無影灯（手術・中材科）倒像鏡（眼科）等の整備で前年度当初予算額に対して35,000千円、50.0%減の35,000千円を計上しました。

2項企業債償還金1目企業債償還金は、前年度当初予算額に対して、3,086千円、1.0%増の298,044千円を計上しました。

3項投資1目その他投資は、前年度当初予算額に対して、2,400千円、22.2%減の8,400千円を計上しました。これは、看護師確保のための修学資金貸付金です。

(単位：千円)

款	項	目	区 分	平成30年度 当初予算額①	平成29年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率 (%) ③/②×100
1			資本的支出	341,444	375,758	△ 34,314	△ 9.1
	1		建設改良費	35,000	70,000	△ 35,000	△ 50.0
		1	資産購入費	35,000	70,000	△ 35,000	△ 50.0
	2		企業債償還金	298,044	294,958	3,086	1.0
		1	企業債償還金	298,044	294,958	3,086	1.0
	3		投資	8,400	10,800	△ 2,400	△ 22.2
		1	その他投資	8,400	10,800	△ 2,400	△ 22.2

資本的収入額が資本的支出額に不足する額140,100千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金等で補てんするものです。

●市町村負担金について

(単位：千円)

病院運営分 地元割34%、平均割16%、人口割50%	平成30年度 当初予算額①	平成29年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率 (%) ③/②×100
茂原市 66.24%	649,152	596,160	52,992	8.9
一宮町 6.21%	60,858	55,890	4,968	
睦沢町 4.70%	46,060	42,300	3,760	
長生村 7.08%	69,384	63,720	5,664	
白子町 6.01%	58,898	54,090	4,808	
長柄町 4.73%	46,354	42,570	3,784	
長南町 5.03%	49,294	45,270	4,024	
計	980,000	900,000	80,000	

(単位：千円)

広域医療救護所分 平均割20%、人口割80%	平成30年度 当初予算額①	平成29年度 当初予算額②	増減額③ ①-②	増減率 (%) ③/②×100
茂原市 50.78%	12,669	15,757	△ 3,088	△ 19.6
一宮町 9.14%	2,280	2,836	△ 556	
睦沢町 6.72%	1,677	2,085	△ 408	
長生村 10.53%	2,627	3,268	△ 641	
白子町 8.81%	2,198	2,734	△ 536	
長柄町 6.78%	1,692	2,104	△ 412	
長南町 7.24%	1,806	2,247	△ 441	
計	24,949	31,031	△ 6,082	